



江崎 貴大 議員
無会派

問 障がい者グループホームの進捗は

答 事業所と協力し支援を続ける



▲わじゅうの家 結い

問 居住支援サービスの充実に向けたこれまでの動きは。

答 [健康福祉部長] 懇談会の開催、第4期障がい者福祉計画に明記、プロジェクトチームで検討し、弥富福祉会が輪中の郷の隣に建設した。

問 いつ開所予定か。

答 職員の採用と研修を経て今年度中を予定。

問 定員は。

答 10人。

問 入所者の募集開始は。

答 検討中。

入所要件について以下を問う。

問 障害種別の枠はあるのか。

答 身体障害者手帳または療育手帳の交付を受け、たんの吸引などの医療行為を常時必要としないなど。

問 障がいに応じた医療体制は。

答 基本的にかかりつけ医を受診。

問 年齢制限はあるのか。

答 18歳以上。

問 男女の割合は。

答 男女半々。

問 募集地域に指定はあるのか。

答 原則として、弥富市内在住者。

問 職員の確保状況は。

答 ハローワーク津島で募集中。

問 内覧会や見学会等は開催するのか。周知方法は。

答 内覧会はせず、随時見学。市のホームページに掲載。

問 今後の方向性、第6期障がい福祉計画に向けての考えは。

答 充足率は低く今後も支援。数値目標を掲げて取り組む。

問 空き家の福祉施設への利活用は

答 大変有効だと考える

問 市内の空き家、危険家屋の現状は。

答 [建設部長] 空き家は平成28年度、315棟。危険特定空き家は令和2年8月時点で、3棟。

問 空家等対策協議会での協議内容と今後の対応は。

答 計画の作成、変更、該当の当否、調査、利活用、その他対策に必要な事項。今後は所有者への啓発、所有者の特定と働きかけ。

問 空家除却費補助金の対象となる不良住宅とは。

答 構造又は設備が著しく不良であるなど。

問 宅地建物取引業協会との協定締結により、どのような効果が期待されるのか。

答 空家相談総合窓口を開設し、空家流通の活性化。

問 空き家の状況把握に関して、自治会との連携は。

答 自治会から提供された情報を基に、現場確認、実態把握を行う。

問 空き家を福祉施設として利活用する考えは。

答 大変有効。個別判断と都市計画法の許可が必要な場合もある。都市整備課まで相談してほしい。